

北高 進路だより Vol.3 (通算 vol.61)

進路指導キーワード

自立

R4.7.4

発行：下関北高校進路指導課

今年度教育実習生(実習期間 5月23日～6月3日)からの寄稿です。

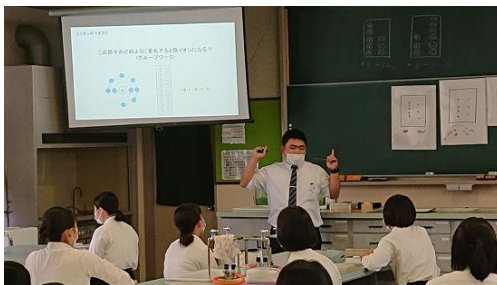
1 人間力 ～どんなことでも、最後には「人」に行き着く～

山口東京理科大学工学部応用化学科4年 なかつか まさと 中塚 聖人 さん
(豊北高平成31年3月卒 豊北中出身)

——自己紹介をお願いします。

3年前に北高を卒業しました。野球部では四番打者を任せられ、強豪の南陽工を豊北球場に迎えた試合で本塁打を打ったことは思い出の一つです。3年時は主将を務めました。夏の大会は1回戦で長門高と7回表まで4対4の接戦で自身も3安打を放っていましたが、その裏一挙7失点でコールド負けを喫し、試合中の流れの怖さ、勝負の厳しさというものを思い知らされた経験をしました。

大学に進学して教職課程を履修し、現在は教育実習を終え、教師になるための準備に努めています。



熱く語りました
2022.6.2 本校化学教室にて

——教育実習はいかがでしたか。

今回初めて教壇に立ち、最初はすごく緊張しました。しかし、生徒の皆さんが明るく接してくれたためすぐに打ち解けることができました。私は父が教員であることもあり教鞭を執ることに長く憧れを抱いていて、そのことを実現する一歩を、父が教える姿を見てきた北高で踏み出せたことを強く実感させていただきました。

——理科・化学を志望したきっかけ、将来の目標を教えてください。

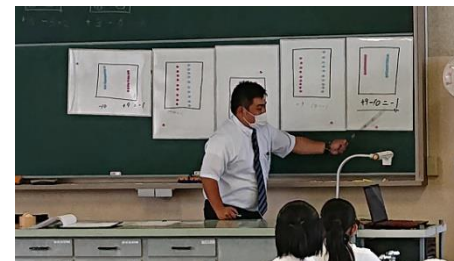
最初から化学ということではなく、体育とどちらにするか迷っていました。決め手は、父の担当教科だったこともあります。徐々に生活の中で理科のおもしろさを知り、それらを知ってほしい気持ちが高まったということが一番です。将来の目標は、理科の面白さを教えることはもちろん、子供たちに人間を教え、成長をサポートし夢の実現へと導ける教員になりたいと思います。

——受験先決定、受験勉強を振り返ってみて思い出すことはありますか？

野球がポイントでした。野球を続けるかどうかを考えていたため、強豪大学も数校考えつつ、

最終的には今の大学に落ち着きました。理由は選手としてより指導者の道を進もうと決め、教員を目指すために教科の研究が充実させられると考えたからです。悩みましたが、何人もの先生方に相談し決めました。

受験勉強は参考書を買って取り組みました。今思うと、情報をしっかり集めて様々な大学について知っていたからこそ、志望理由を書く時にそれを生かしたのではないかと。



語り込みました

——野球部で他に印象に残っている事は？

2年生の6月に練習試合のプレー中、相手校の選手と接触し、左足首の靭帯を2本断裂、1本損傷という大ケガを負い、夏の大会に出場できなかったことです。全治半年と言われた時は絶望し一晩中泣き続けました。しかし、当時の監督の先生から「ケガをして見えることもある。今チームに対してできることは何か、自分の役割を理解して取り組もう」という言葉をかけていただき、サポートにまわることを決意しました。そして夏の大会までチームの皆に対して気づきを助言することを続け、先輩方がもう一度お前をグラウンドに立たせる、と言ってきて、チームが一つになったように思います。

——最後に、後輩諸君に対しメッセージをお願いします。

北高生の皆は明るく素直で人懐こい印象です。これから様々な人に関わり、色々な考えに触れて人間力をより高めて下さい。そして北高をより明るく充実感を感じられる学校にしたいです。

受験に関しては、とにかく情報収集です。ネットでも、先輩に聞くことでも、まずはそこからでしょう。また、志望理由をまとめる方法として、自分のしたいことや夢を普段から友人や親に語る方法があります。これを続けることで、面接試験でスムーズに言葉が出てくるようになると思います。あとは何事も自信がつくまでやること。自信がない、というのはまだ勉強する余地があるということ。これだけやったなら大丈夫、と自分が納得できるまでやることです。苦しい思いをした人間だけが逆境をチャンスに変えられます。お互いがんばりましょう！

2 オープンキャンパスも、“二刀流”

今年度もオープンキャンパス(以下OC)は、対面型・オンライン(Web)型を同時開催する“二刀流”開催が多く、どちらも原則予約制なので申し込みは早めにすべきです。後者はURL(アドレス)の取得方法など早めに把握しておく必要があります。また、後者のメリットは、会場に実



過年度分です

際に足を運ぶ時間がない人には参加機会を増やすこと。3年生はもとより部活動等で忙しい1,2年生にとってチャンスと言えるかも知れません。

あと、参加上の心得を二つ。「①複数校に参加して比較検討すること」、「②(場合に応じて)保護者に同伴してもらい、(保護者の)理解を得やすくすること」です。承知しておくといでしょう。